



スマイル子育て便り

釧路市児童発達支援センター 令和4年2月28日発行 No.11

今回のテーマは、前回に引き続き『効果的な指示の出し方』についてです。
前回お伝えしたポイント1『子どもの注意を引く』、ポイント2『視線を合わせる』に続き、
3つめと4つめのポイントについてお伝えします。

ポイント3 短く・具体的に指示をする

「いつ」「なにを」「どうするか」を、子どもがわかりやすいように伝えましょう。

【不適切な例】

「走っちゃダメ！」
「ちゃんとして」
「お片付けしてくれる？」
「あとで歯みがきするよ」



【伝え方の例】

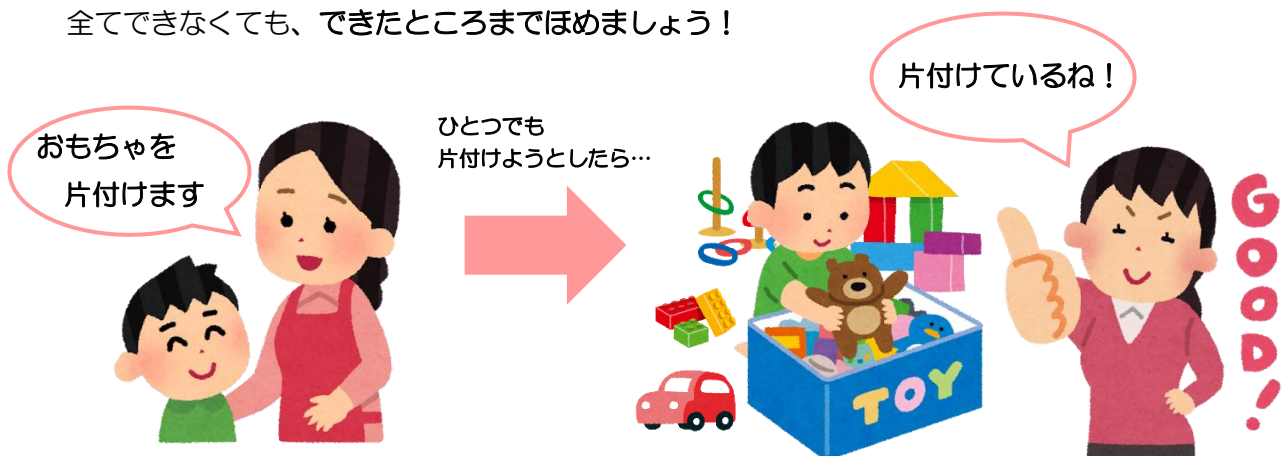
「歩きます」
「椅子に座ります」
「おもちゃを片付けます」
「時計の長い針が6になったら
歯みがきをします」

あいまいな言い方や否定的な言い方では、“何がだめ”で“何をするとよいか”がわかりにくいです。してほしい行動を具体的に伝えましょう。



ポイント4 指示に応じようとしたら「すぐに」ほめる

子どもが指示に応じようとしたときから、ほめましょう。
全てできなくても、できたところまでほめましょう！



ポイント4については、「スマイル子育て便り No.8」でお伝えしている『25%ルール』を参考にしてください。

質問や相談がありましたら、児童発達支援センター職員に気軽に声をかけてください。

地域支援相談担当 44-3555

野のはな園 44-1022